

北海道大学シラバス					
■■ 科目名					
沿岸実習					
■■ 講義題目					
■■ 責任教員(所属)					
水・海洋資源科学科長(水産学部)					
■■ 担当教員(所属)					
平石 智徳(大学院水産科学研究院) 水・海洋資源科学科長(水産学部)					
■■ 科目種別	水産学部専門科目			■■ 他学部履修等の可否	不可
■■ 開講年度	2016	■■ 期間	1学期	■■ 時間割番号	019006
■■ 授業形態	実験・実習	■■ 単位数	1	■■ 対象年次	3～
■■ 対象学科・クラス				■■ 補足事項	開講時期は別途お知らせします。
■■ ナンバリングコード	FIS_APLMS 3550				
■■ 大分類コード	■■ 大分類名称				
FIS_APLMS	水産学部(海洋資源科学科)				
■■ レベルコード	■■ レベル				
3	学部専門科目(発展的な内容の科目)、全学教育科目(高年次対象科目)				
■■ 中分類コード	■■ 中分類名称				
5	深化型科目(実習・実験)				
■■ 小分類コード	■■ 小分類名称				
5	沿岸実習				
■■ 言語コード	■■ 言語				
0	日本語で行う授業				

## ■■ キーワード

海洋環境計測機, 水中音響計測機, 漁具, 採集具, 沿岸漁業

## ■■ 授業の目標

沿岸域の洋上において安全な作業を実践し, 練習船に装備された海洋環境計測機や水中音響計測機などの各種計測機器類の使用法, 海洋生物の観測方法, ならびにデータ取得やその処理の技能を習得する。また, 沿岸漁業(定置網, 昆布養殖, 延縄, 刺網等)の技能研修によって生産現場, ならびに漁業と海洋環境との関わりをより深く理解する。

## ■■ 到達目標

## 共通課題

1. 安全に洋上作業を行うことができる。
2. 用途に応じた網, 縄, 糸の結索を行うことができる。

## 選択課題

3. 魚群探知機, ソナー, ADCP(Acoustic Doppler Current Profiler)などの操作を行い, 画像の解釈, 音響データ処理を行うことができる。
4. CTD(Conductivity-Temperature-Depth profiler)や採水器, 光学観測機器を使用し, データの取得から処理の過程を実行できる。
5. 海洋生物の目視観測や採集, 形態計測などを行い, そのデータ処理を行うことができる。
6. 沿岸漁業(定置網, 昆布養殖, 延縄, 刺網等)の技能, ならびに現状と展望を報告することができる。

## ■ ■ 授業計画

### 共通課題

1. 洋上における安全な作業
2. 綱, 縄, 系の結索法

### 選択課題(1つを選択)

3. 水中音響計測機の使用方法和データ処理
4. 海洋環境計測機の使用方法和データ処理
5. 海洋生物の観測とデータ処理
6. 沿岸漁業(定置網, 昆布養殖, 延縄, 刺網等)の技能研修

## ■ ■ 準備学習(予習・復習)等の内容と分量

予習, 課題資料冊子や安全の手引き, 講義指定図書を読み, 実習課題について理解し, 実習報告書の記載項目を把握しておく。

復習, 実習報告書の記載項目について, 実習記録を確認し, 記録漏れや誤りを正しておく。実習の記憶, 感想など忘れないように早期に実習報告書をまとめる。

## ■ ■ 成績評価の基準と方法

共通課題と選択課題に出席し, 実習報告書を提出した学生について評価される。課題実習では, 事故なく安全に手順を間違えずに丁寧に実行できたかを採点される。実習報告書には, 他の選択課題の学生にもわかりやすく, 課題の目的, 方法, 成果, 自己評価を要領よく記述する。評価方法は, 課題実習と実習報告書の評価点を合計し, 合計点の百分率に基づいて, 秀>=90%, 優>=80%, 良>=70%, 可>=60%の成績とする。

## ■ ■ テキスト・教科書

安全の手引き / 北海道大学 : 北海道大学, 2013

安全の手引き(船舶編) / 北海道大学水産学部安全管理委員会 : 北海道大学水産学部, 1995

[練習船による水産科学・海洋環境科学実習 / 北海道大学水産学部おしよ丸教科書編集委員会編 : 五稜出版社, 函館, 2016. ISBN:978-4-906103-19-5](#)

課題資料冊子を配布する。

## ■ ■ 講義指定図書

[北海道漁業漁具・漁法図鑑 : 水産北海道協会\(BN02778141\), ISBN:BN02778141](#)

[ロープの結び方 / 杉浦昭典 : 海文堂出版\(BA71982098\), ISBN:BA71982098](#)

## ■ ■ 参照ホームページ

## ■ ■ 研究室のホームページ

## ■ ■ 備考

1. 学生教育研究災害傷害保険・学研災付帯賠償責任保険等に加入していることが履修条件である。
2. 慢性疾患や障害を有する場合には, 担当教員に履修可能であるかを3年次4月初めに確認して承諾を得る。
3. 共通課題は3年次4月に行うので, 開催案内の掲示に注意する。
4. 選択課題には各履修定員があり, 定員以上の学生は履修できない。3年次4月に選択課題の学生配置を決定する。
5. 日程が重なる場合には, 事前に他の講義や実験の担当教員に欠席届を提出して補講などの相談をしておき, 欠席による支障が生じないように準備を行う。(沿岸実習の補講を行うことはできない。)
6. 天候に注意する。海上作業では危険を伴い, 実習内容, 日程の変更を余儀なくされるので掲示等で連絡する。
7. 緊急連絡網に登録し, 登録メールアドレスを変更したときには忘れずに再登録する。

## ■ ■ 更新日時

2016/02/24 11:42:07